

## 8 障害児者の短期入所の利用に係る実態調査

集計にあたっての報酬類型区分は以下のとおりである。

福祉型 (n=448) : 令和6年9月に福祉型、福祉型強化、福祉型強化特定の算定をしている事業所

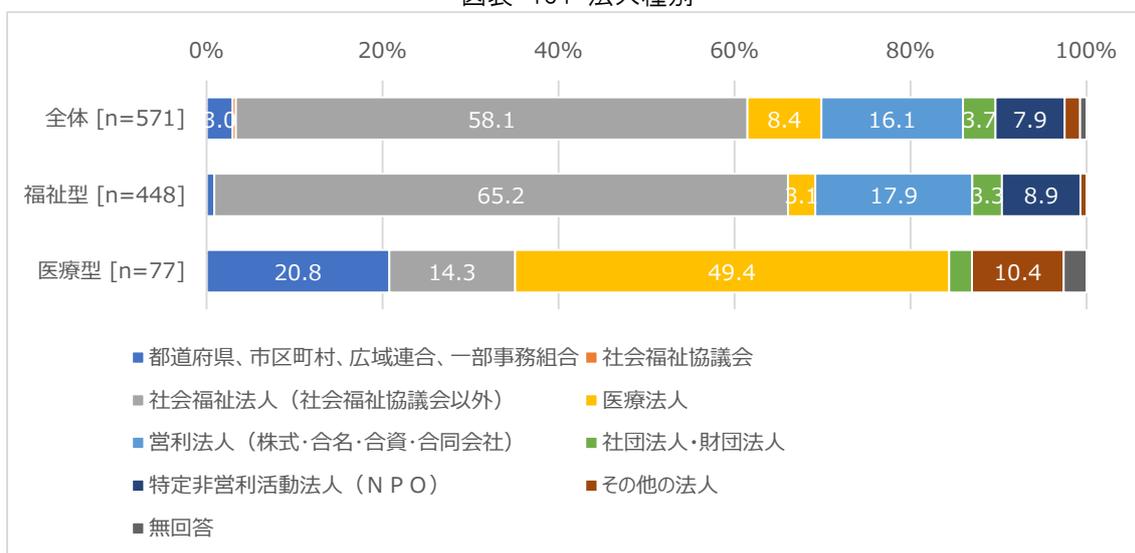
医療型 (n= 77) : 令和6年9月に医療型、医療型特定の算定をしている事業所

### (1) 事業所の基本情報

#### ①法人種別

法人種別は、「社会福祉法人（社会福祉協議会以外）」が58.1%と多くなっている。類型別では、医療型は「医療法人」が49.4%と多くなっている。

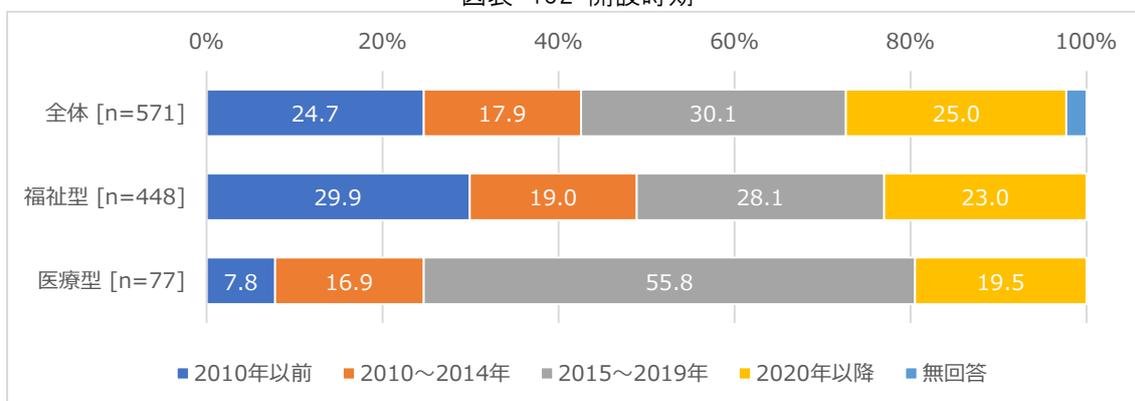
図表 451 法人種別



#### ②開設時期

開設時期は、「2015～2019年」が30.1%、「2020年以降」が25.0%、「2010年以前」が24.7%、「2010～2014年」が17.9%となっている。

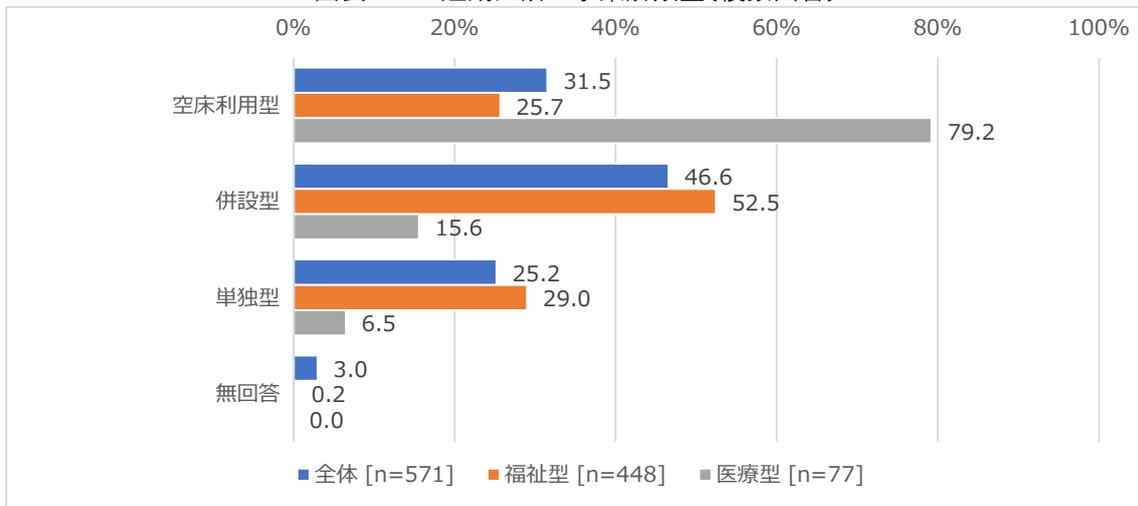
図表 452 開設時期



### ③短期入所の事業所類型

短期入所の事業所類型は、「併設型」が46.6%、「空床利用型」が31.5%、「単独型」が25.2%となっている。

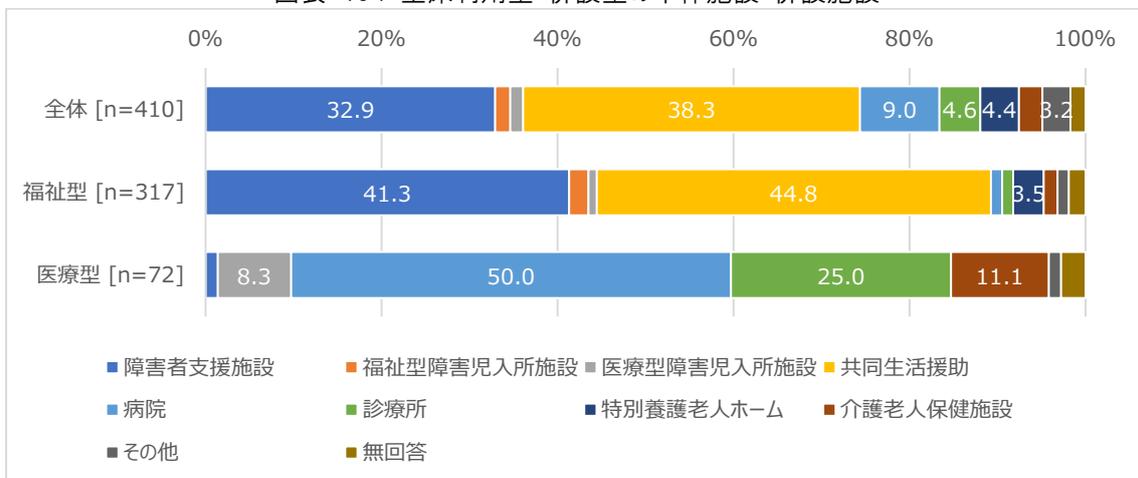
図表 453 短期入所の事業所類型〔複数回答〕



### ④空床利用型・併設型の本体施設・併設施設

空床利用型・併設型の事業所に、本体施設・併設施設を聞いたところ、「共同生活援助」が38.3%、「障害者支援施設」が32.9%となっている。医療型では、「病院」が50.0%となっている。

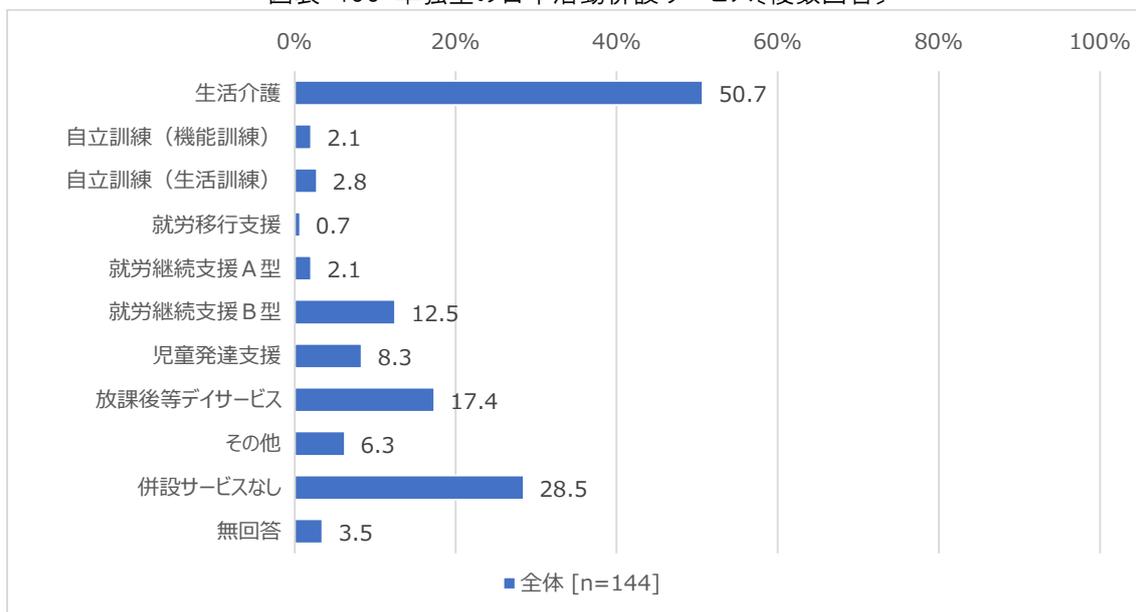
図表 454 空床利用型・併設型の本体施設・併設施設



## ⑤ 単独型の日中活動併設サービス

単独型の事業所に、日中活動の併設サービスについて聞いたところ、「生活介護」が50.7%と多くなっている。「併設サービスなし」は28.5%となっている。

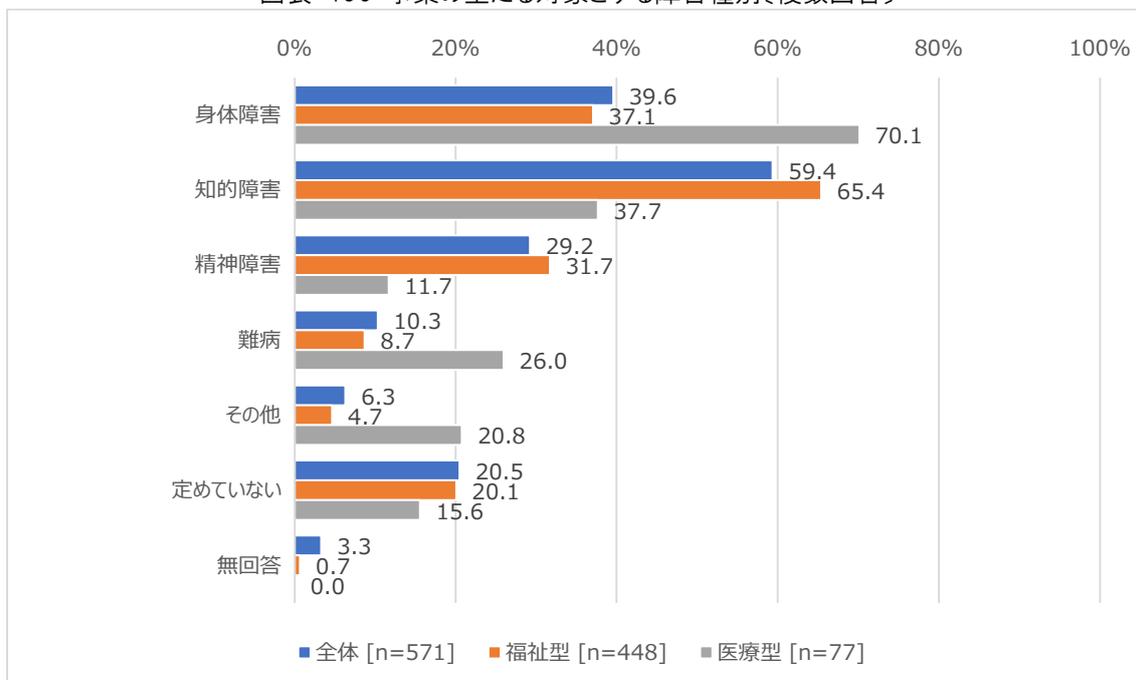
図表 455 単独型の日中活動併設サービス〔複数回答〕



## ⑥ 事業の主たる対象とする障害種別

運営規程上、事業の主たる対象とする障害種別を定めているかどうかを聞いたところ、「知的障害」が59.4%、「身体障害」が39.6%、「精神障害」が29.2%となっている。一方、「定めていない」は20.5%となっている。

図表 456 事業の主たる対象とする障害種別〔複数回答〕



## ⑦短期入所の定員数・居室数

短期入所の定員数・居室数について聞いたところ、1事業所あたりの平均で、令和5年9月では、定員数が4.9人、別途緊急対応用の利用枠が0.2人、居室数が4.1室、うち、個室数が3.4室となっている。令和6年9月では、定員数が4.8人、別途緊急対応用の利用枠が0.2人、居室数が4.1室、うち、個室数が3.4室となっている。

図表 457 短期入所の定員数・居室数

(単位：人、室)		全体 [n=370]	福祉型 [n=334]	医療型 [n=12]
令和5年9月	定員数	4.9	4.5	8.7
	別途緊急対応用の利用枠	0.2	0.2	0.1
	居室数	4.1	4.0	2.4
	うち、個室数	3.4	3.4	1.1
(単位：人、室)		全体 [n=388]	福祉型 [n=349]	医療型 [n=13]
令和6年9月	定員数	4.8	4.4	8.6
	別途緊急対応用の利用枠	0.2	0.2	0.1
	居室数	4.1	4.0	2.5
	うち、個室数	3.4	3.3	1.0

## ⑧短期入所の利用登録者数

短期入所の利用登録者数は、平均で令和5年9月が28.2人、令和6年9月が30.1人となっている。

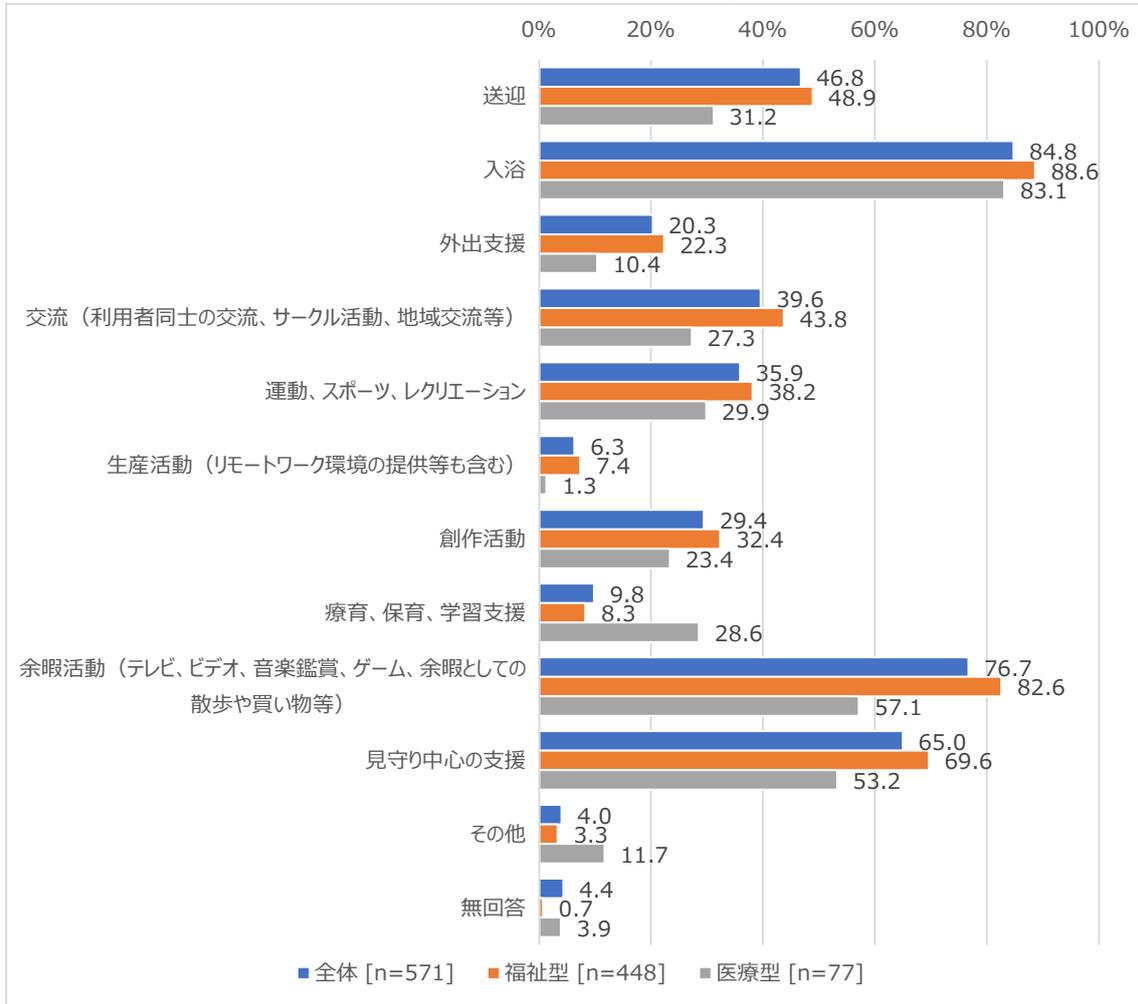
図表 458 短期入所の利用登録者数

(単位：人)	全体 [n=508]	福祉型 [n=414]	医療型 [n=73]
令和5年9月	28.2	28.6	35.6
令和6年9月	30.1	31.1	35.2

## ⑨短期入所の利用者の日中活動で提供可能なサービス等

短期入所の利用者の日中活動で提供可能なサービス等について聞いたところ、「入浴」が84.8%と最も多く、次いで、「余暇活動（テレビ、ビデオ、音楽鑑賞、ゲーム、余暇としての散歩や買い物等）」が76.7%、「見守り中心の支援」が65.0%となっている。

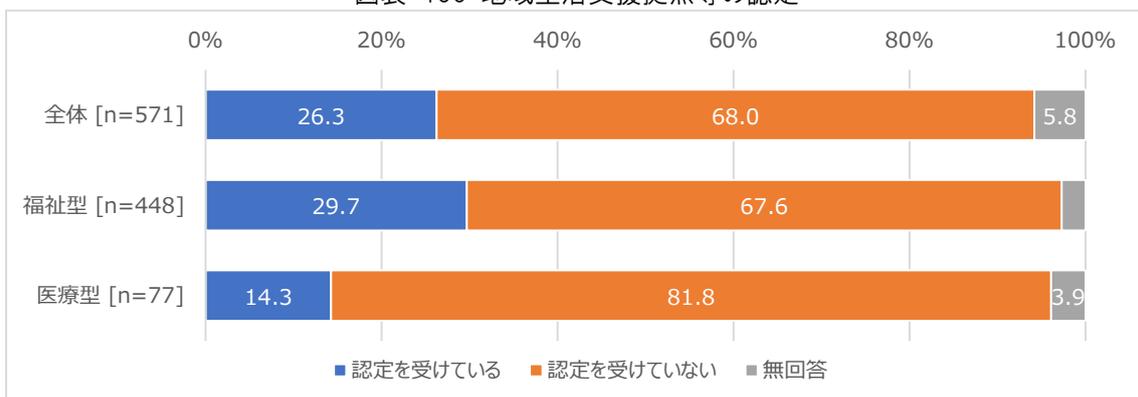
図表 459 短期入所の利用者の日中活動で提供可能なサービス等〔複数回答〕



## ⑩地域生活支援拠点等の認定

地域生活支援拠点等の認定は、「認定を受けていない」が68.0%、「認定を受けている」が26.3%となっている。

図表 460 地域生活支援拠点等の認定



## (2) 短期入所の利用者の状況

### ①短期入所の実利用者数

短期入所の実利用者数は、1事業所あたりの平均で、合計人数が13.2人となっている。障害支援区分別では、区分6の利用者が4.0人、区分5の利用者が2.3人等となっている。

図表 461 短期入所の実利用者数

(単位：人)		全体 [n=522]	福祉型 [n=430]	医療型 [n=73]
区分1	利用者	0.3	0.3	0.1
	うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0
	うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.1
	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	0.0	0.0
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.1	0.1	0.0
区分2	利用者	0.8	0.8	0.0
	うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0
	うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0
	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	0.0	0.0
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.2	0.2	0.0
区分3	利用者	2.1	2.1	1.1
	うち、強度行動障害を有する者	0.1	0.1	0.0
	うち、重症心身障害者	0.3	0.2	1.1
	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	0.0	0.0
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.6	0.7	0.0
区分4	利用者	2.0	2.2	0.0
	うち、強度行動障害を有する者	0.1	0.1	0.0
	うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0
	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	0.0	0.0
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.7	0.8	0.0
区分5	利用者	2.3	2.5	0.1
	うち、強度行動障害を有する者	0.5	0.5	0.0
	うち、重症心身障害者	0.1	0.1	0.1
	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	0.0	0.0
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.8	0.9	0.0
区分6	利用者	4.0	4.0	4.2
	うち、強度行動障害を有する者	1.2	1.3	0.1
	うち、重症心身障害者	1.0	0.8	3.3
	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.3	0.2	0.8
	うち、同一法人の通所サービス利用者	1.6	1.9	0.7
障害児・非該当・その他	利用者	1.8	1.4	5.8
	うち、強度行動障害を有する者	0.1	0.1	0.4
	うち、重症心身障害者	0.8	0.3	4.8
	うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.1	0.0	0.7
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.3	0.3	0.7
合計		13.2	13.3	11.5

短期入所の実利用者数について、事業所類型別で見ると、1事業所あたりの平均人数は単独型で28.3人と多くなっている。併設型は8.5人、空床利用型は7.3人となっている。

図表 462 短期入所の実利用者数(事業所類型別)

(単位：人)		全体 [n=522]	空床利用型 [n=167]	併設型 [n=253]	単独型 [n=135]
区分1	利用者	0.3	0.0	0.1	0.8
	うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.1	0.0	0.0	0.2
区分2	利用者	0.8	0.3	0.5	1.9
	うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.2	0.1	0.2	0.4
区分3	利用者	2.1	1.2	1.0	5.0
	うち、強度行動障害を有する者	0.1	0.1	0.0	0.1
	うち、重症心身障害者	0.3	0.4	0.0	0.6
	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.6	0.2	0.3	1.6
区分4	利用者	2.0	0.7	1.5	4.4
	うち、強度行動障害を有する者	0.1	0.0	0.1	0.3
	うち、重症心身障害者	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.7	0.2	0.5	1.5
区分5	利用者	2.3	0.8	1.9	4.9
	うち、強度行動障害を有する者	0.5	0.2	0.3	1.1
	うち、重症心身障害者	0.1	0.0	0.0	0.2
	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.0	0.0	0.0	0.0
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.8	0.2	0.6	1.6
区分6	利用者	4.0	2.5	2.7	8.2
	うち、強度行動障害を有する者	1.2	0.4	0.7	2.9
	うち、重症心身障害者	1.0	1.2	0.5	1.8
	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.3	0.3	0.2	0.5
	うち、同一法人の通所サービス利用者	1.6	0.7	1.0	3.9
障害児・非該当・その他	利用者	1.8	1.8	0.9	3.2
	うち、強度行動障害を有する者	0.1	0.0	0.1	0.3
	うち、重症心身障害者	0.8	1.2	0.5	0.4
	うち、医療的ケアを要する者(重心以外)	0.1	0.1	0.1	0.1
	うち、同一法人の通所サービス利用者	0.3	0.2	0.1	0.8
合計		13.2	7.3	8.5	28.3

短期入所の障害種別の実利用者数を見ると、平均で身体障害が3.2人、知的障害が9.2人、精神障害が0.8人、難病等が0.4人となっている。

図表 463 短期入所の障害種別の実利用者数

(単位：人)	全体 [n=515]	福祉型 [n=425]	医療型 [n=72]
身体障害	3.2	2.4	10.2
知的障害	9.2	10.3	0.2
精神障害	0.8	0.7	0.0
難病等	0.4	0.3	1.3
合計	13.6	13.6	11.6
(再掲) 発達障害	0.6	0.6	0.3
(再掲) 高次脳機能障害	0.1	0.1	0.2

## ②短期入所利用者の個別状況

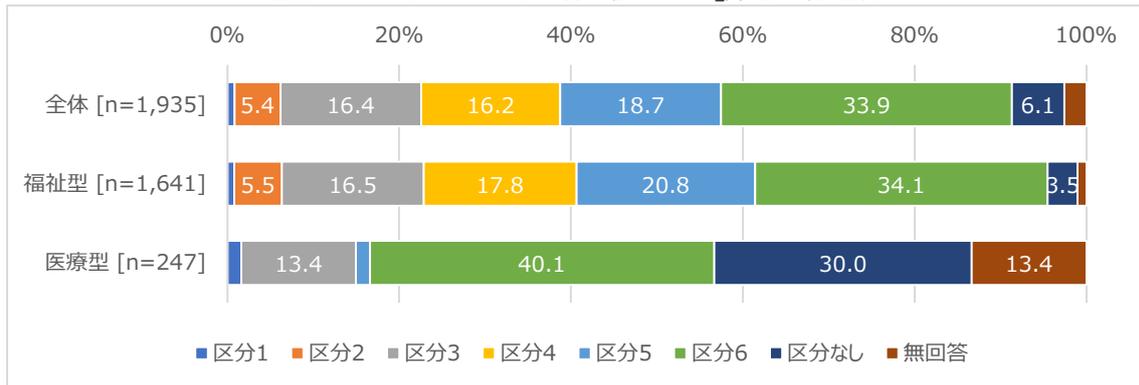
短期入所利用者の個別状況について聞いたところ、1,935人分の回答があった。  
 利用者の年齢は、平均で31.6歳となっている。

図表 464 短期入所利用者の個別状況\_年齢

(単位:歳)	全体 [n=1,909]	福祉型 [n=1,620]	医療型 [n=242]
平均年齢	31.6	33.1	18.5

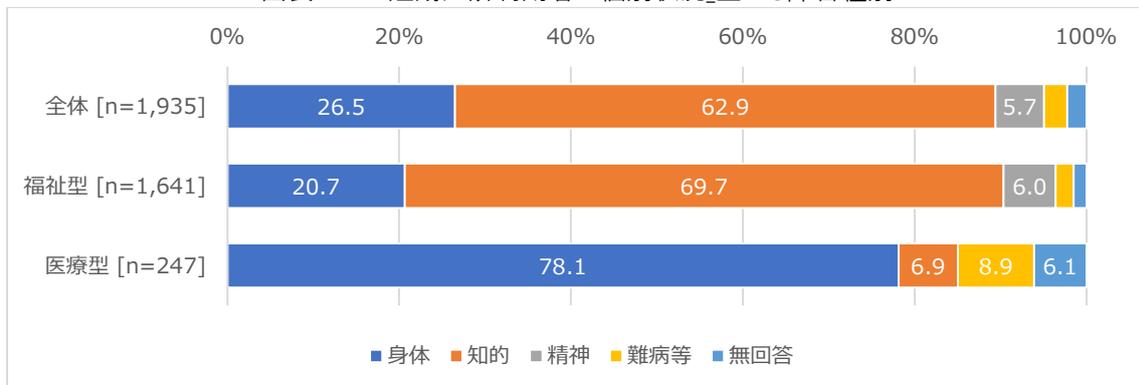
障害支援区分は、「区分6」が33.9%、「区分5」が18.7%等となっている。

図表 465 短期入所利用者の個別状況\_障害支援区分



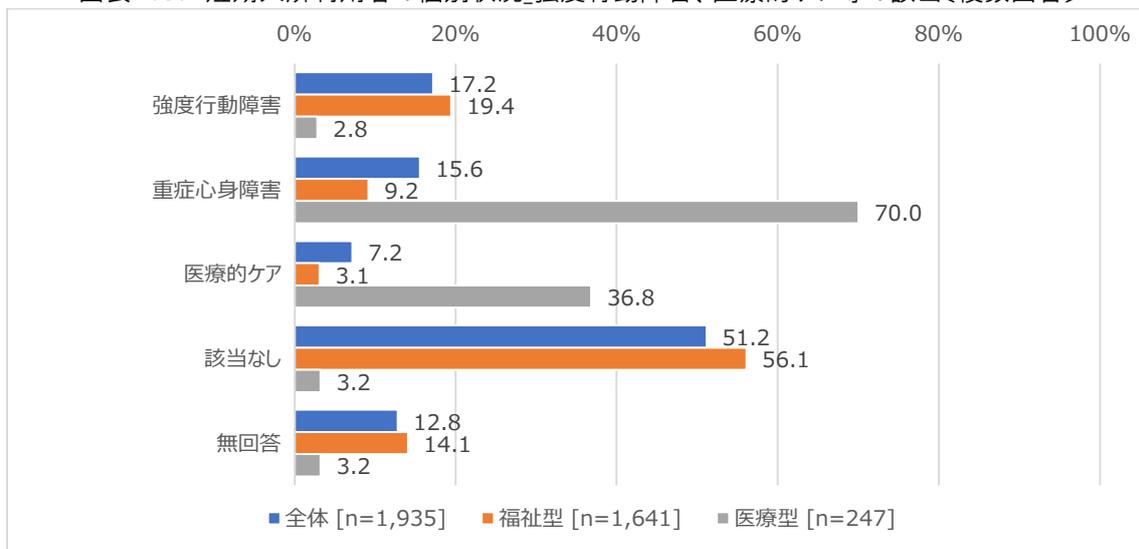
主たる障害種別は、「知的」が62.9%、「身体」が26.5%となっている。

図表 466 短期入所利用者の個別状況\_主たる障害種別



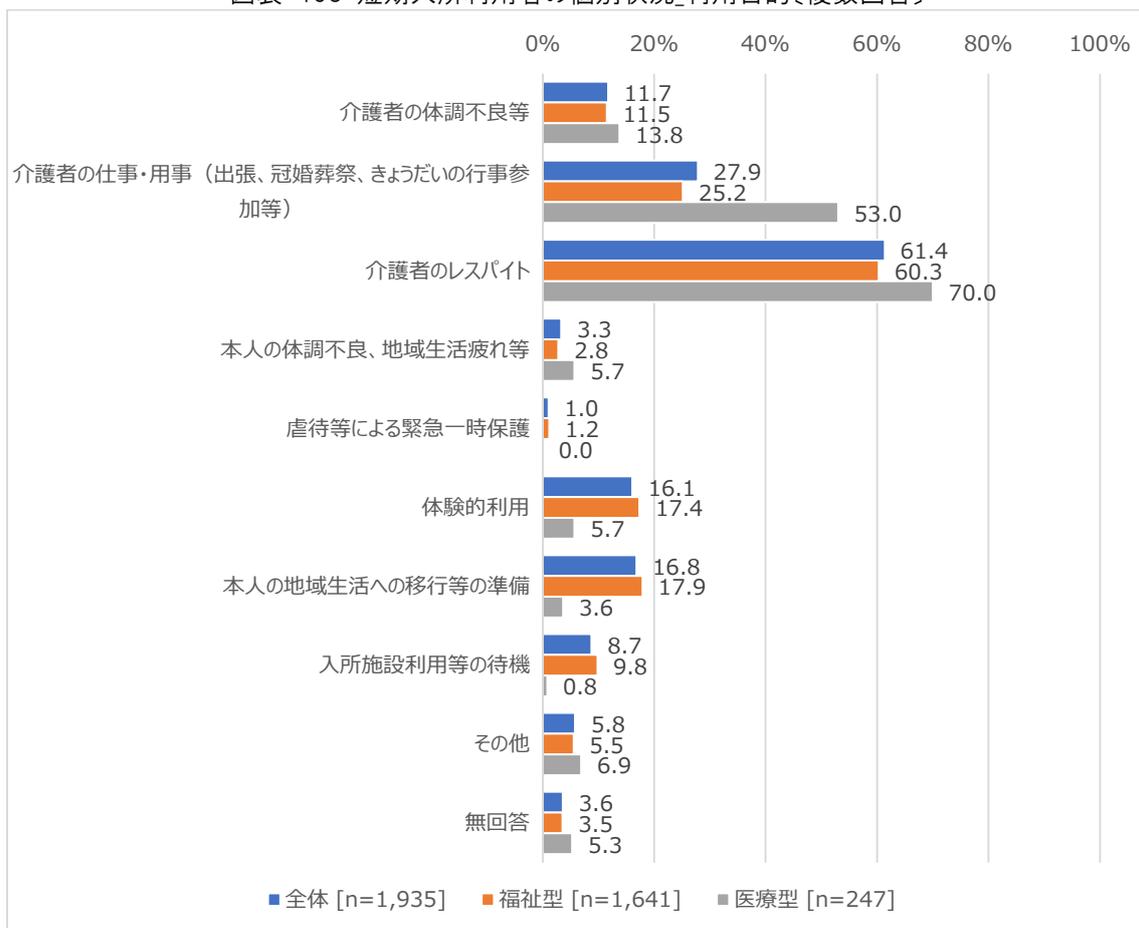
強度行動障害、医療的ケア等の該当状況を聞いたところ、「該当なし」が51.2%となっている。類型別では、医療型で「重症心身障害」が多くなっている。

図表 467 短期入所利用者の個別状況\_強度行動障害、医療的ケア等の該当〔複数回答〕



短期入所の利用目的は、「介護者のレスパイト」が61.4%と最も多く、次いで、「介護者の仕事・用事（出張、冠婚葬祭、きょうだいの行事参加等）」が27.9%となっている。

図表 468 短期入所利用者の個別状況\_利用目的〔複数回答〕



利用日数は、平均で令和6年9月の合計利用日数が6.8日、最長の連続利用日数が4.5日となっている。

図表 469 短期入所利用者の個別状況\_利用日数

(単位：日)	全体 [n=1,908]	福祉型 [n=1,619]	医療型 [n=242]
9月の合計利用日数	6.8	7.0	5.6
最長の連続利用日数	4.5	4.6	3.4

### ③短期入所の利用延べ人数

短期入所の利用延べ人数については、1事業所あたりの平均で、令和5年9月では43.5人、令和6年9月では44.1人となっている。

図表 470 短期入所の利用延べ人数

(単位：人)		全体 [n=350]	福祉型 [n=291]	医療型 [n=47]
令和5年9月	延べ人数	43.5	45.6	39.3
	うち、強度行動障害	8.7	9.1	7.9
	うち、重症心身障害	9.6	8.0	24.1
	うち、医療的ケアを要する（重心以外）	6.0	6.5	4.7
(単位：人)		全体 [n=498]	福祉型 [n=412]	医療型 [n=70]
令和6年9月	延べ人数	44.1	45.4	40.0
	うち、強度行動障害	5.4	6.2	0.9
	うち、重症心身障害	6.1	3.3	26.3
	うち、医療的ケアを要する（重心以外）	1.3	1.0	5.0

事業所類型別で見ると、1事業所あたりの平均で、単独型が令和5年9月で79.5人、令和6年9月で84.1人と多くなっている。

図表 471 短期入所の利用延べ人数(事業所類型別)

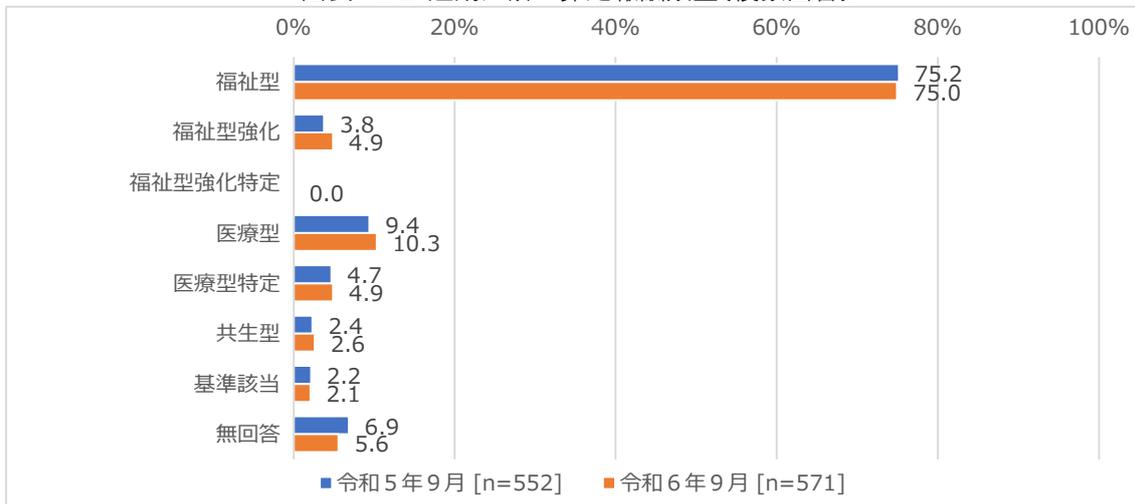
(単位：人)		全体 [n=350]	空床利用型 [n=112]	併設型 [n=172]	単独型 [n=92]
令和5年9月	延べ人数	43.5	24.7	35.1	79.5
	うち、強度行動障害	8.7	4.7	6.7	17.1
	うち、重症心身障害	9.6	8.6	6.8	14.7
	うち、医療的ケアを要する（重心以外）	6.0	3.5	5.1	10.5
(単位：人)		全体 [n=498]	空床利用型 [n=163]	併設型 [n=244]	単独型 [n=124]
令和6年9月	延べ人数	44.1	23.6	36.9	84.1
	うち、強度行動障害	5.4	1.8	3.4	13.9
	うち、重症心身障害	6.1	6.4	4.5	7.9
	うち、医療的ケアを要する（重心以外）	1.3	1.7	1.0	1.7

### (3) 短期入所の基本報酬及び各種加算の状況について

#### ①短期入所の算定報酬類型

短期入所の算定報酬類型は、令和5年9月では「福祉型」が75.2%、「医療型」が9.4%となっている。令和6年9月では「福祉型」が75.0%、「医療型」が10.3%となっている。

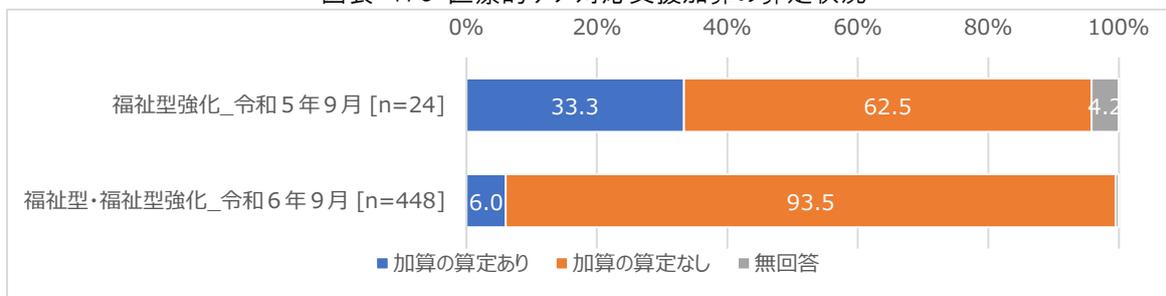
図表 472 短期入所の算定報酬類型〔複数回答〕



#### ②医療的ケア対応支援加算の算定状況

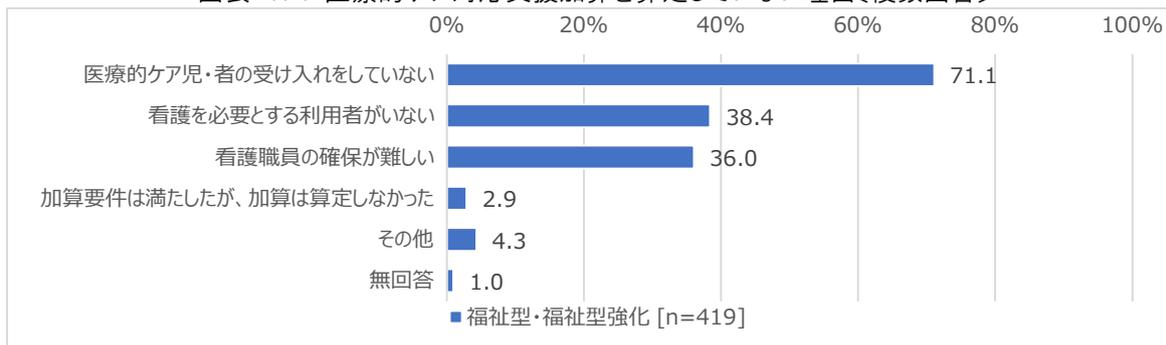
医療的ケア対応支援加算の算定状況を聞いたところ、令和5年9月（福祉型強化のみ）では、「加算の算定なし」が62.5%、「加算の算定あり」が33.3%となっている。令和6年9月（福祉型・福祉型強化）では、「加算の算定なし」が93.5%、「加算の算定あり」が6.0%となっている。

図表 473 医療的ケア対応支援加算の算定状況



令和6年9月に医療的ケア対応支援加算の算定をしていない事業所に、加算を算定していない理由を聞いたところ、「医療的ケア児・者の受け入れをしていない」が71.1%と多くなっている。

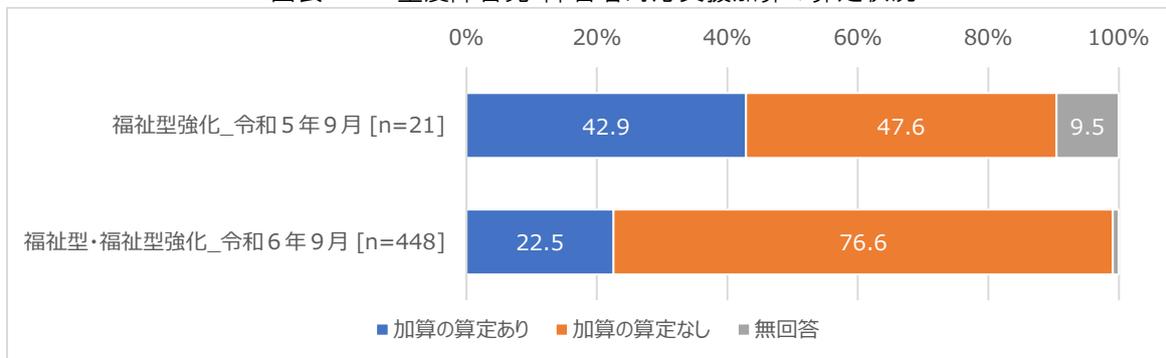
図表 474 医療的ケア対応支援加算を算定していない理由〔複数回答〕



### ③重度障害児・障害者対応支援加算の算定状況

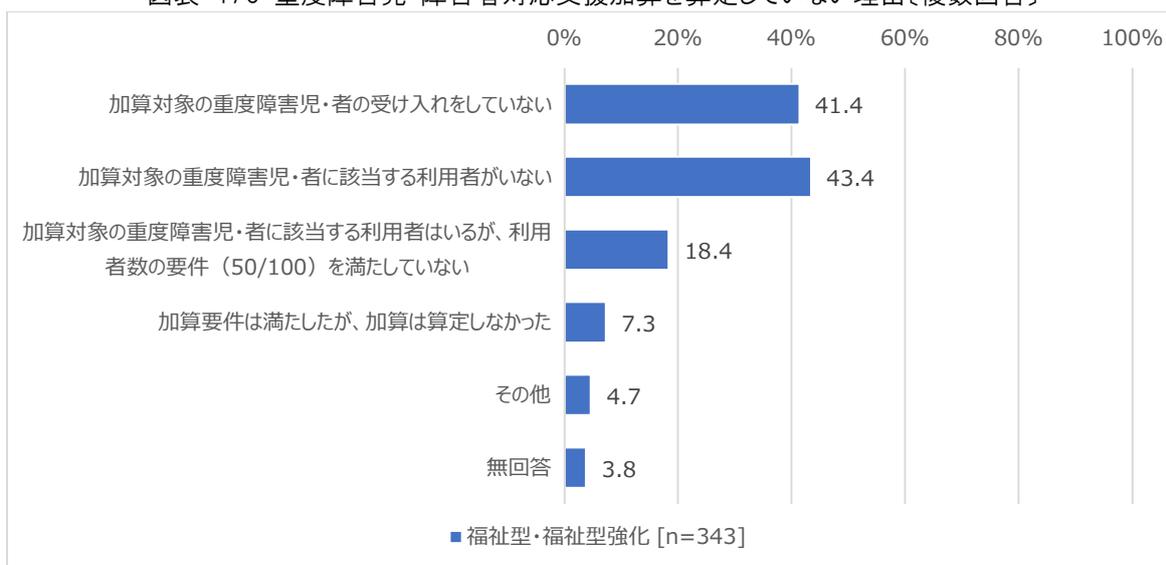
重度障害児・障害者対応支援加算の算定状況を聞いたところ、令和5年9月（福祉型強化のみ）では、「加算の算定なし」が47.6%、「加算の算定あり」が42.9%となっている。令和6年9月（福祉型・福祉型強化）では、「加算の算定なし」が76.6%、「加算の算定あり」が22.5%となっている。

図表 475 重度障害児・障害者対応支援加算の算定状況



令和6年9月に重度障害児・障害者対応支援加算の算定をしていない事業所に、加算を算定していない理由を聞いたところ、「加算対象の重度障害児・者に該当する利用者がいない」が43.4%、「加算対象の重度障害児・者の受け入れをしていない」が41.4%となっている。

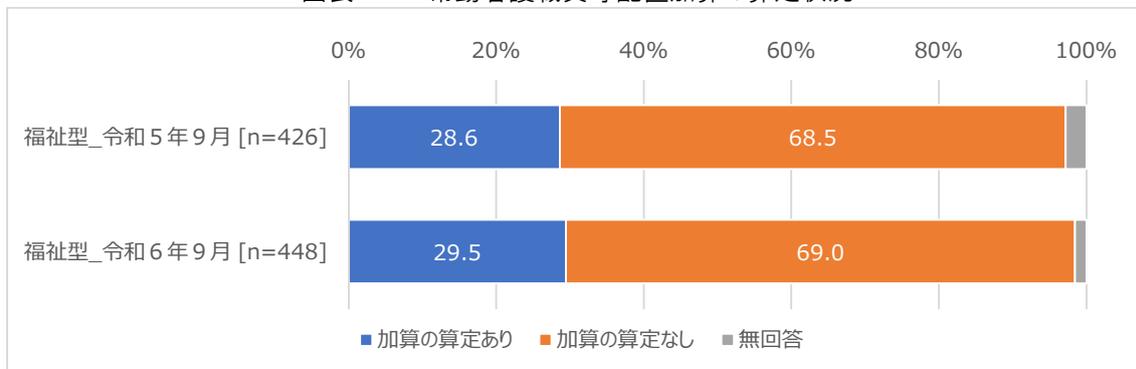
図表 476 重度障害児・障害者対応支援加算を算定していない理由〔複数回答〕



#### ④常勤看護職員等配置加算の算定状況

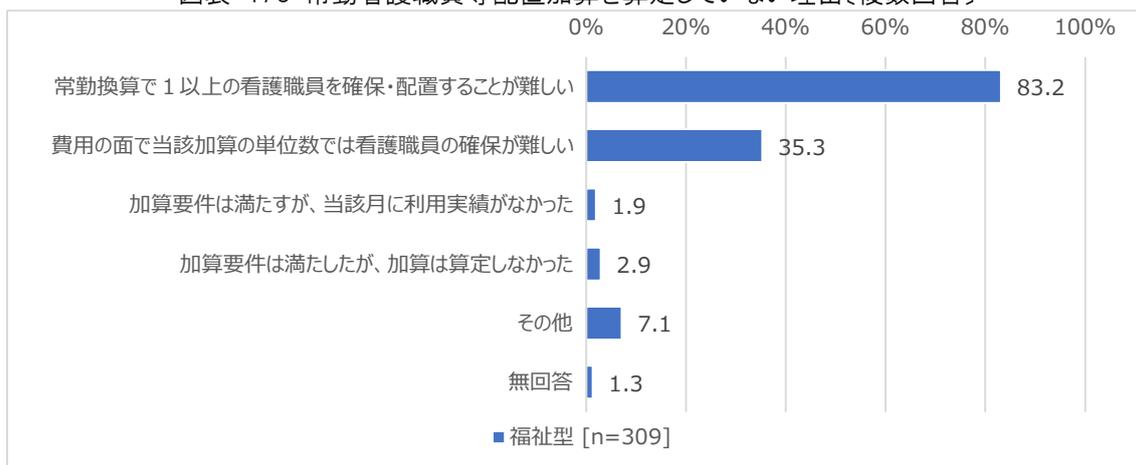
常勤看護職員等配置加算の算定状況を聞いたところ、令和5年9月では、「加算の算定なし」が68.5%、「加算の算定あり」が28.6%となっている。令和6年9月では、「加算の算定なし」が69.0%、「加算の算定あり」が29.5%となっている。

図表 477 常勤看護職員等配置加算の算定状況



令和6年9月に常勤看護職員等配置加算の算定をしていない事業所に、加算を算定していない理由を聞いたところ、「常勤換算で1以上の看護職員を確保・配置することが難しい」が83.2%と多くなっている。

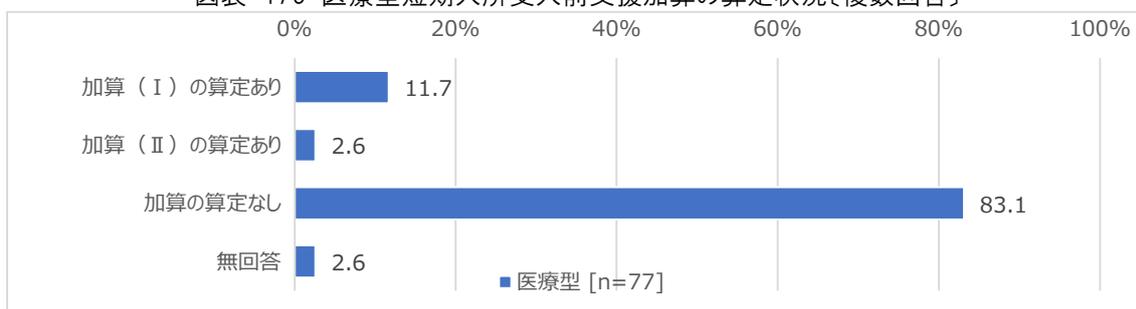
図表 478 常勤看護職員等配置加算を算定していない理由〔複数回答〕



## ⑤医療型短期入所受入前支援加算の算定状況

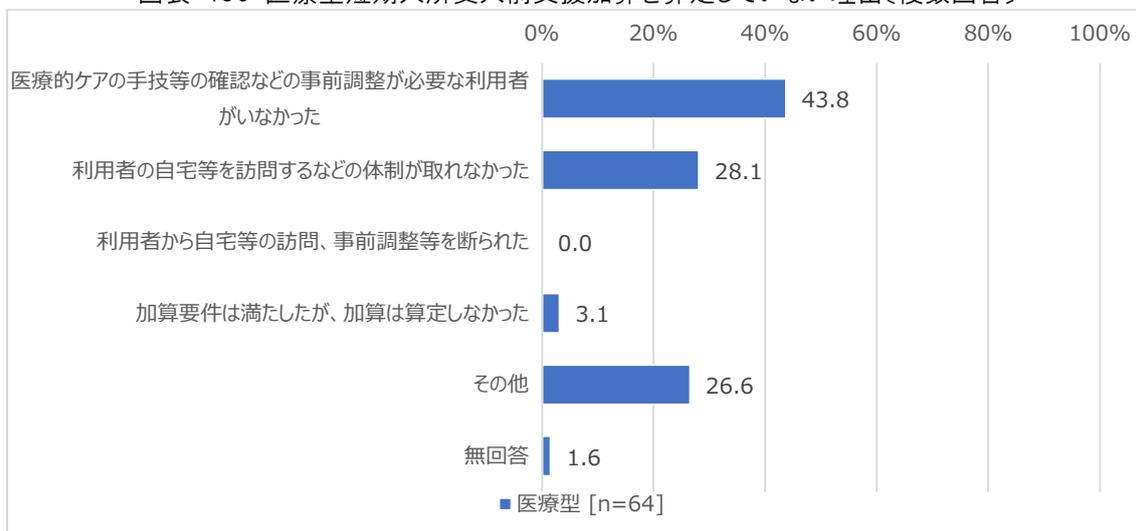
令和6年4月～9月における医療型短期入所受入前支援加算の算定状況を聞いたところ、「加算の算定なし」が83.1%、「加算（Ⅰ）の算定あり」が11.7%、「加算（Ⅱ）の算定あり」が2.6%となっている。

図表 479 医療型短期入所受入前支援加算の算定状況〔複数回答〕



医療型短期入所受入前支援加算の算定をしていない事業所に、加算を算定していない理由を聞いたところ、「医療的ケアの手技等の確認などの事前調整が必要な利用者がいなかった」が43.8%と多くなっている。なお、「その他」については、加算の対象外等の回答が比較的多く見られる。

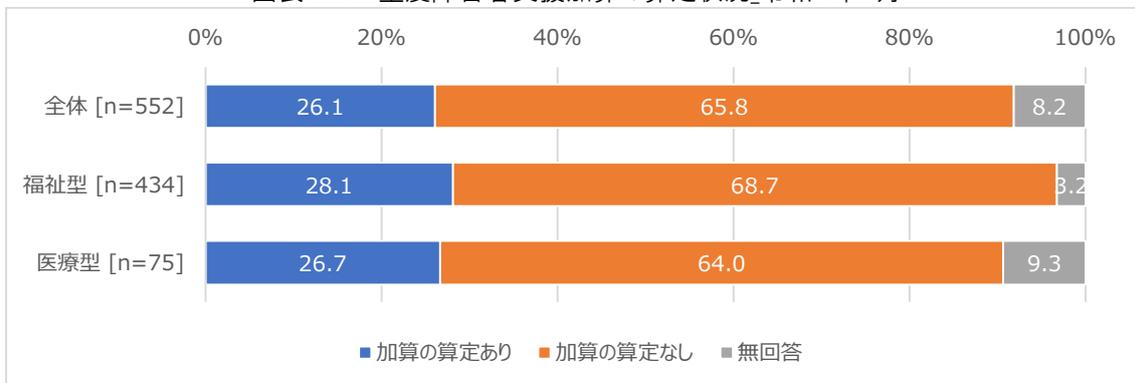
図表 480 医療型短期入所受入前支援加算を算定していない理由〔複数回答〕



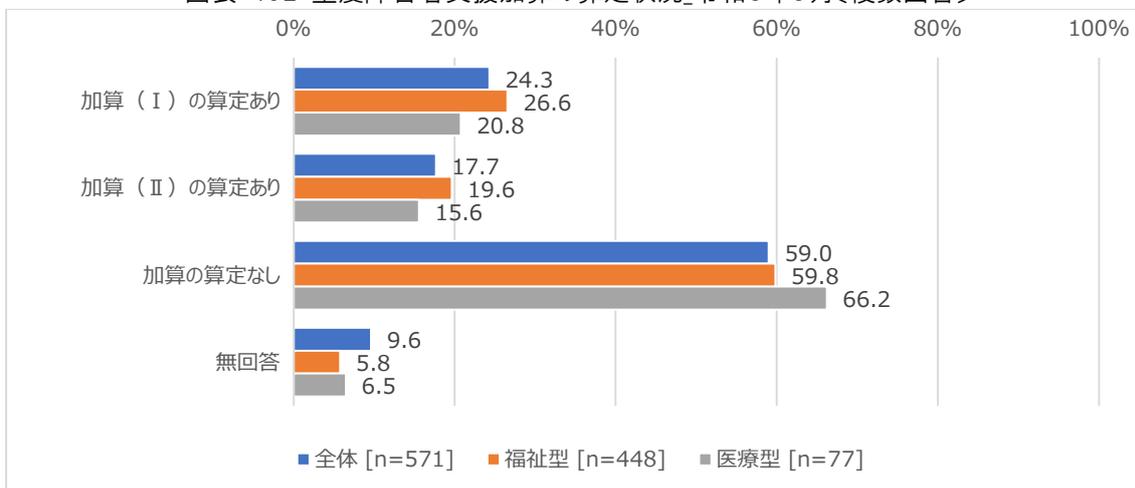
## ⑥ 重度障害者支援加算の算定状況

重度障害者支援加算の算定状況について聞いたところ、令和5年9月では、「加算の算定なし」が65.8%、「加算の算定あり」が26.1%となっている。令和6年9月では、「加算の算定なし」が59.0%、「加算（Ⅰ）の算定あり」が24.3%、「加算（Ⅱ）の算定あり」が17.7%となっている。

図表 481 重度障害者支援加算の算定状況\_令和5年9月

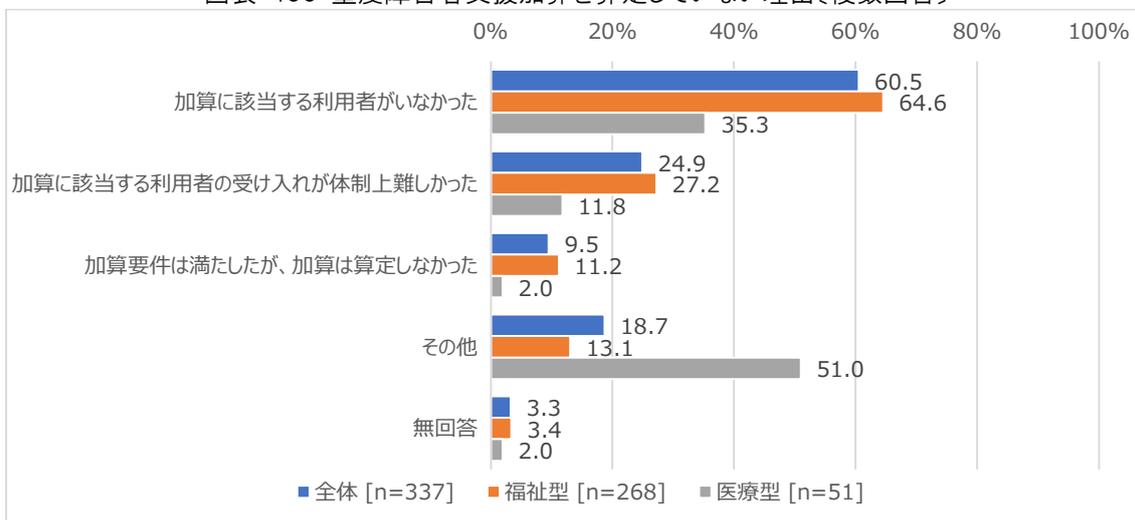


図表 482 重度障害者支援加算の算定状況\_令和6年9月〔複数回答〕



重度障害者支援加算の算定をしていない事業所に、加算を算定していない理由を聞いたところ、「加算に該当する利用者がいなかった」が60.5%と多くなっている。なお、「その他」については、加算の対象外等の回答が比較的多く見られる。

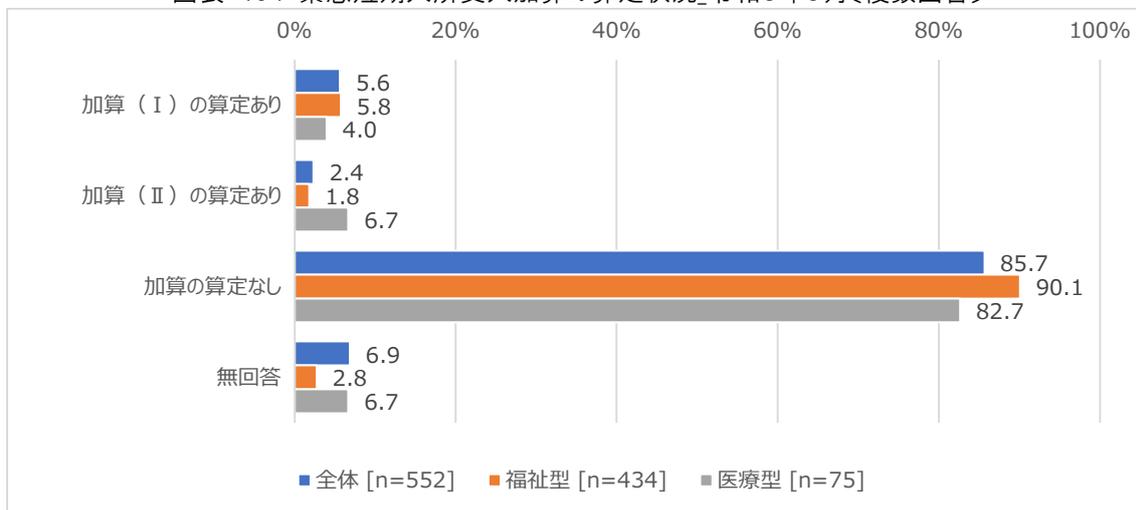
図表 483 重度障害者支援加算を算定していない理由〔複数回答〕



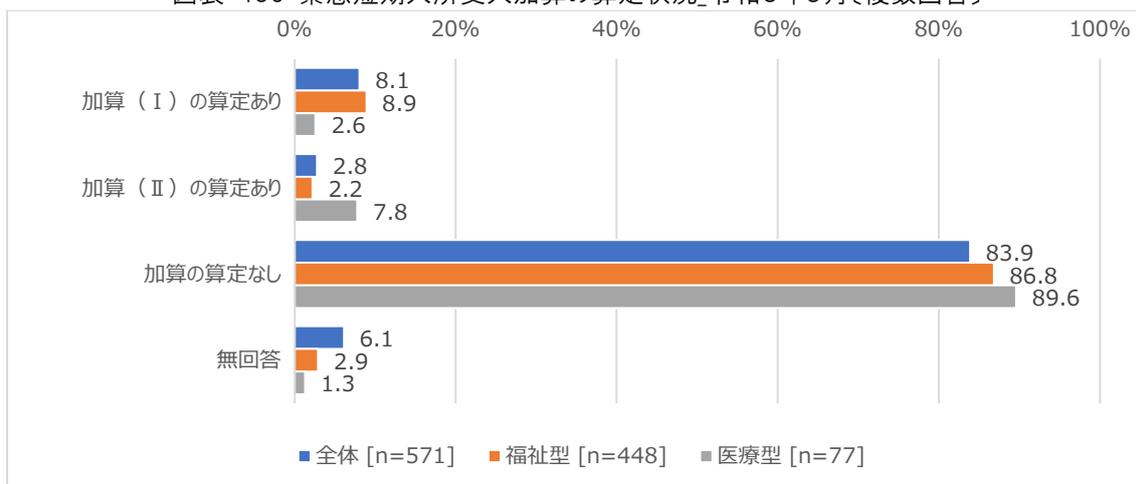
## ⑦緊急短期入所受入加算の算定状況

緊急短期入所受入加算の算定状況について聞いたところ、令和5年9月では、「加算の算定なし」が85.7%、「加算（Ⅰ）の算定あり」が5.6%、「加算（Ⅱ）の算定あり」が2.4%となっている。令和6年9月では、「加算の算定なし」が83.9%、「加算（Ⅰ）の算定あり」が8.1%、「加算（Ⅱ）の算定あり」が2.8%となっている。

図表 484 緊急短期入所受入加算の算定状況\_令和5年9月〔複数回答〕

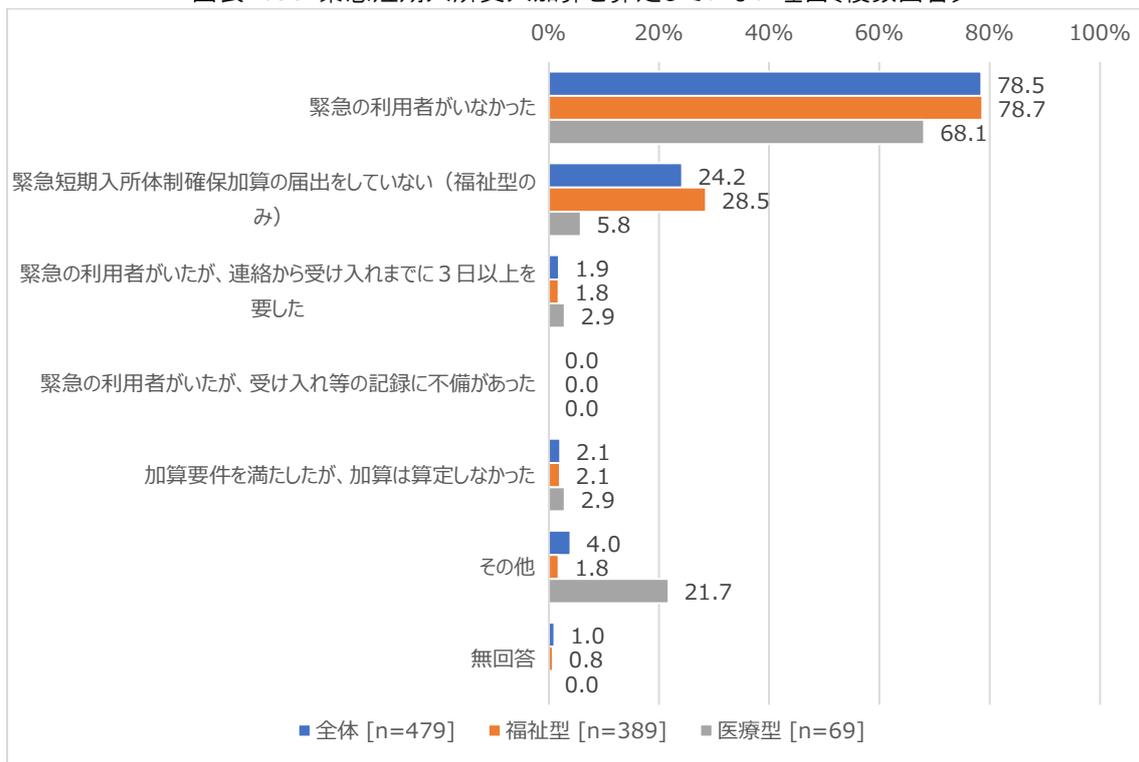


図表 485 緊急短期入所受入加算の算定状況\_令和6年9月〔複数回答〕



緊急短期入所受入加算の算定をしていない事業所に、加算を算定していない理由を聞いたところ、「緊急の利用者がいなかった」が78.5%と多くなっている。

図表 486 緊急短期入所受入加算を算定していない理由〔複数回答〕



## (4) 職員配置の状況

### ①短期入所事業所の職員数

短期入所事業所（空床利用型、併設型は本体施設）の職員数について聞いたところ、1事業所あたりの平均で、合計職員数（常勤換算）は40.8人となっている。職種別では看護職員が多くなっているが、これは医療型の事業所の本体施設が病院等であることにより、平均人数が大きくなっているものである。

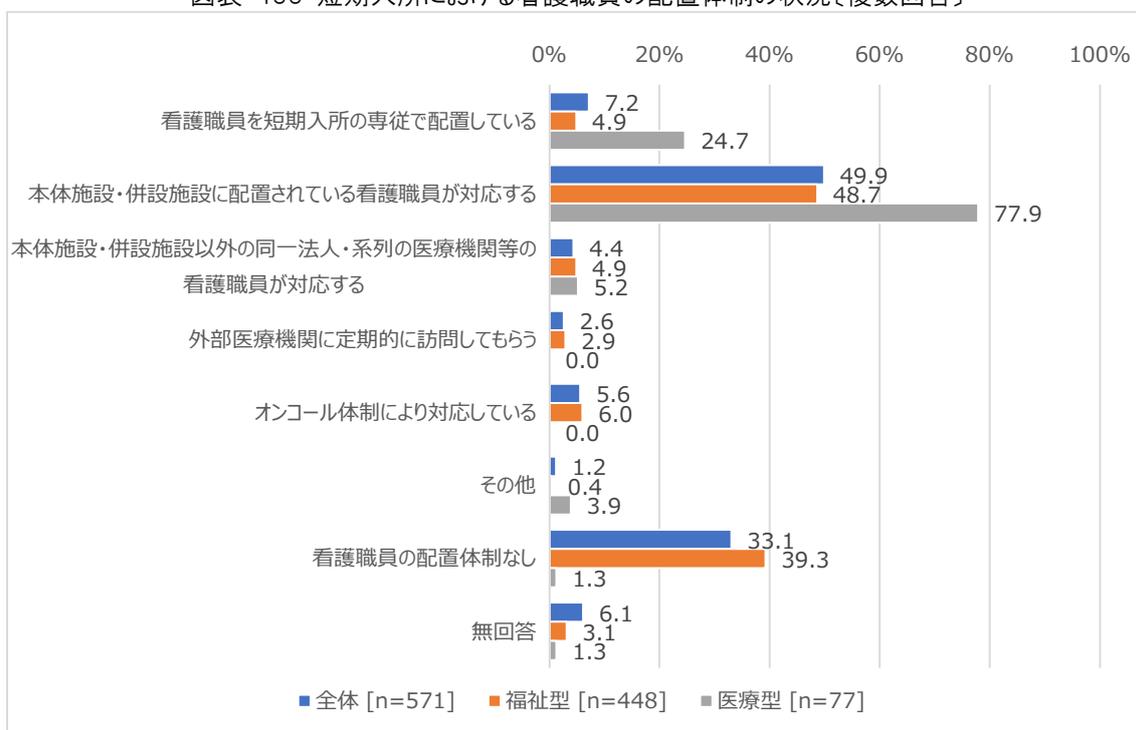
図表 487 短期入所事業所(空床利用型、併設型は本体施設)の職員数

(単位：人)			全体 [n=511]	福祉型 [n=417]	医療型 [n=73]
常勤	実職員数	①管理者（施設長等）	0.9	0.9	0.8
		②サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者	0.8	0.9	0.3
		③医師	3.5	0.9	24.6
		④理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	1.2	0.3	7.3
		⑤看護職員	12.5	3.3	81.2
		⑥生活支援員	8.2	9.7	1.3
		⑦保育士・児童指導員	0.4	0.4	1.3
		⑧福祉・介護職員（⑥⑦以外）	2.3	1.6	5.5
		⑨その他職員	5.0	2.0	25.8
非常勤	実職員数	①管理者（施設長等）	0.1	0.1	0.6
		②サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者	0.1	0.1	0.0
		③医師	2.3	0.5	13.6
		④理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	0.2	0.1	0.8
		⑤看護職員	1.3	0.5	6.5
		⑥生活支援員	3.4	3.9	0.4
		⑦保育士・児童指導員	0.2	0.2	0.4
		⑧福祉・介護職員（⑥⑦以外）	1.1	1.1	1.4
		⑨その他職員	2.7	1.9	9.2
	常勤換算数	①管理者（施設長等）	0.1	0.1	0.1
		②サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者	0.1	0.1	0.0
		③医師	0.3	0.1	2.0
		④理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	0.1	0.0	0.6
		⑤看護職員	1.1	0.4	5.7
		⑥生活支援員	2.1	2.4	0.4
		⑦保育士・児童指導員	0.0	0.0	0.2
		⑧福祉・介護職員（⑥⑦以外）	0.8	0.6	1.7
		⑨その他職員	1.4	0.9	6.0
合計（常勤換算）			40.8	24.6	164.6

## ②短期入所における看護職員の配置体制の状況

短期入所における看護職員の配置体制の状況は、「本体施設・併設施設に配置されている看護職員が対応する」が49.9%と最も多く、次いで、「看護職員の配置体制なし」が33.1%となっている。

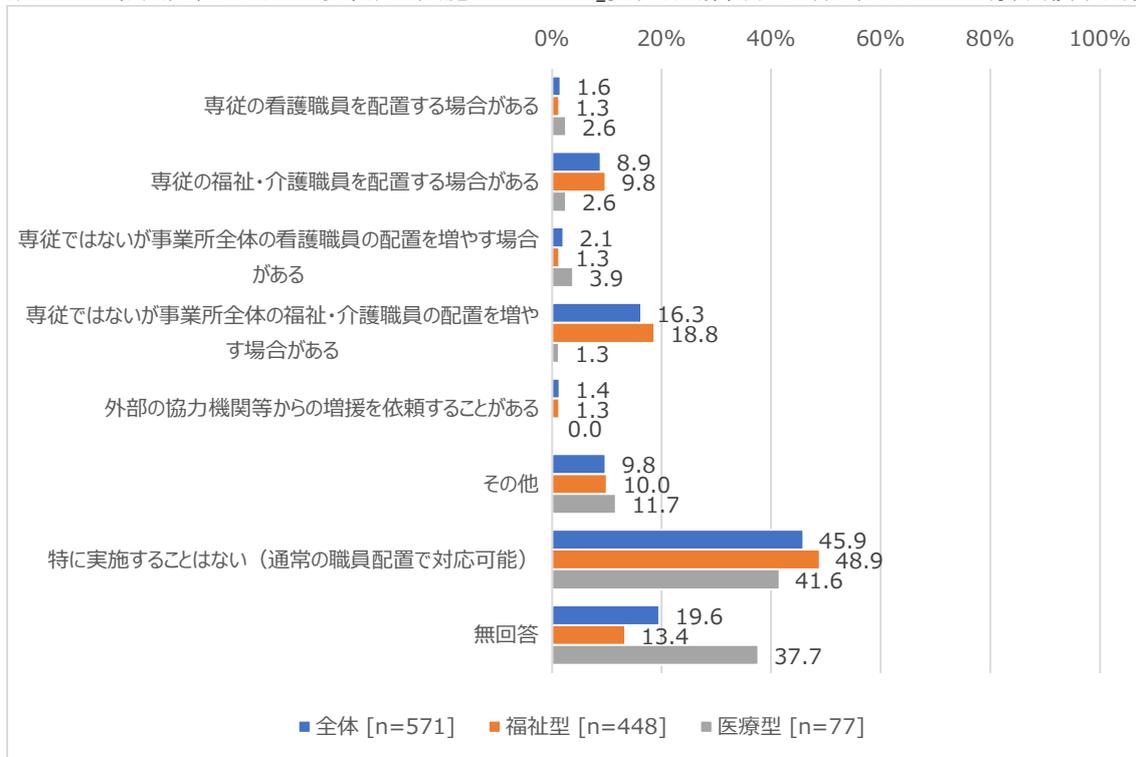
図表 488 短期入所における看護職員の配置体制の状況〔複数回答〕



### ③利用者受け入れの際に職員配置に関して事業所で実施していること

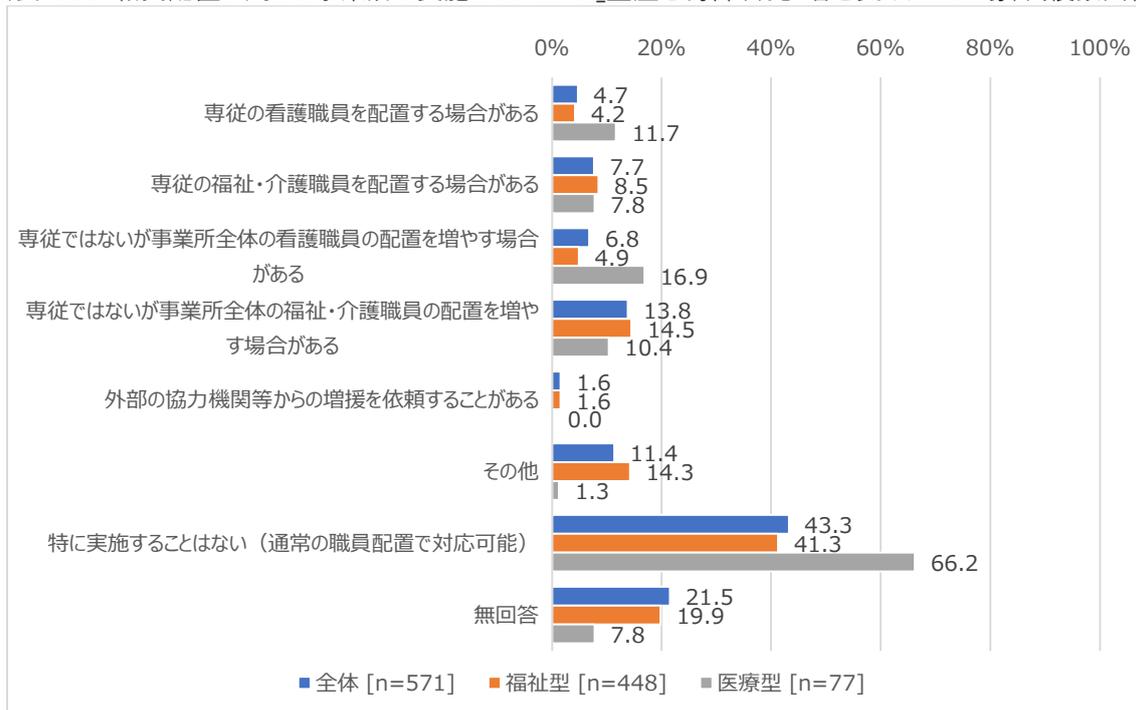
短期入所利用者の受け入れの際に職員配置に関して事業所で実施していることを聞いたところ、強度行動障害児・者を受け入れる場合では、「専従ではないが事業所全体の福祉・介護職員の配置を増やす場合がある」というところが16.3%見られる。

図表 489 職員配置に関して事業所で実施していること\_強度行動障害児・者を受け入れる場合〔複数回答〕



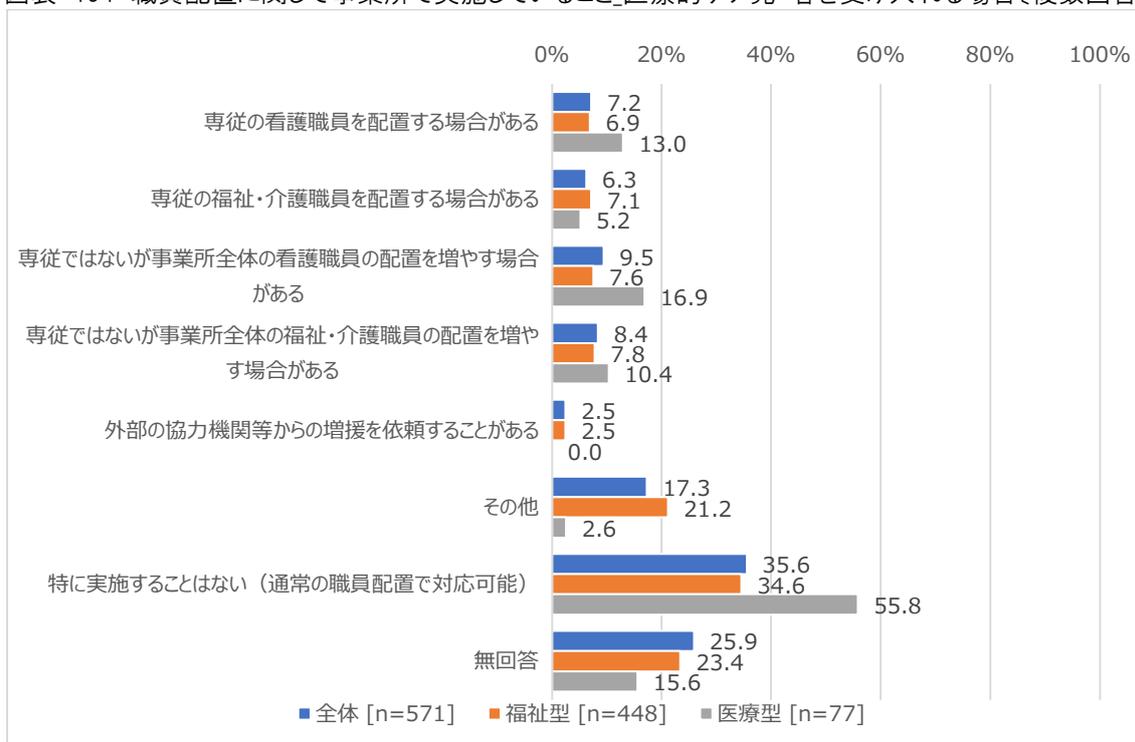
重症心身障害児・者を受け入れる場合では、「専従ではないが事業所全体の福祉・介護職員の配置を増やす場合がある」が13.8%見られる。

図表 490 職員配置に関して事業所で実施していること\_重症心身障害児・者を受け入れる場合〔複数回答〕



医療的ケア児・者を受け入れる場合には、「専従ではないが事業所全体の看護職員の配置を増やす場合がある」が9.5%、「専従ではないが事業所全体の福祉・介護職員の配置を増やす場合がある」が8.4%見られる。

図表 491 職員配置に関して事業所で実施していること\_医療的ケア児・者を受け入れる場合〔複数回答〕



#### ④利用者受け入れに対して加配した職員数

利用者受け入れの際に職員の加配をする場合があると回答した事業所に、加配した職員数を聞いたところ、強度行動障害児・者の場合は、平均で対象利用者数が1.6人のところ、加配した福祉・介護職員が1.5人となっている。重症心身障害児・者の場合は、平均で対象利用者数が1.3人のところ、加配した看護職員が0.3人、福祉・介護職員が0.5人となっている。医療的ケア児・者の場合は、平均で対象利用者数が2.7人のところ、加配した看護職員が0.6人、福祉・介護職員が0.1人となっている。

図表 492 利用者受け入れ人数に対して加配した職員数\_強度行動障害児・者

(単位：人)	全体 [n=135]	福祉型 [n=119]	医療型 [n=7]
対象利用者数	1.6	1.7	1.3
加配職員数_看護職員	0.0	0.0	0.0
加配職員数_福祉・介護職員	1.5	1.7	0.6

図表 493 利用者受け入れ人数に対して加配した職員数\_重症心身障害児・者

(単位：人)	全体 [n=128]	福祉型 [n=103]	医療型 [n=19]
対象利用者数	1.3	1.1	3.0
加配職員数_看護職員	0.3	0.3	0.6
加配職員数_福祉・介護職員	0.5	0.6	0.2

図表 494 利用者受け入れ人数に対して加配した職員数\_医療的ケア児・者

(単位：人)	全体 [n=109]	福祉型 [n=83]	医療型 [n=20]
対象利用者数	2.7	0.6	12.5
加配職員数_看護職員	0.6	0.3	2.4
加配職員数_福祉・介護職員	0.1	0.1	0.1

## ⑤連携・相談のできる外部機関等の状況

強度行動障害児・者、重症心身障害児・者、医療的ケア児・者等の短期入所利用の受け入れにあたり、連携・相談（専門的助言含む）のできる外部機関等の有無を聞いたところ、「該当する障害児・者の支援に知見のある相談支援事業者」が44.5%と最も多く、次いで、「該当する障害児・者の支援実績のある他の施設・事業所（法人内）」が38.0%、「該当する障害児・者の支援実績のある他の施設・事業所（別法人）」が31.9%となっている。類型別では、医療型で「病院、医療機関」等の割合も高くなっている。

図表 495 短期入所利用の受け入れにあたり連携・相談のできる外部機関等〔複数回答〕

